

茨木市出身のノーベル文学賞作家・川端康成を世界にPR 大学生が川端康成文学館の展示を英語翻訳

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、地元茨木市との連携事業の一環として、茨木市ゆかりのノーベル文学賞作家・川端康成の事績を紹介する市立川端康成文学館の展示パネルを英語に翻訳し、1月18日にその成果をプレゼンテーションします。

この連携事業は茨木市からの要請を受け、日本語展示パネルしかない川端康成文学館をグローバル化するとともに、英語翻訳を通じて学生の英語力向上を図ろうと企画したものです。

翻訳に取り組んでいるのは地域創造学部2年生の有志20人です。昨年11月から川端文学館内10か所の展示スペースにある説明パネルを日本語から英語に翻訳しています。展示内容は茨木市で過ごした川端康成の幼少期や旧制中学時代の紹介をはじめ、作品やノーベル賞の授賞式の説明まで多岐にわたり、学生たちは日本語ならではの表現をどのように英語に訳すか奮闘しました。その成果は1月18日に本学で開かれる、ゼミや学生有志で取り組んだ研究や学習の成果を発表するリサーチフェアにおいて発表する予定です。

また英語翻訳した展示パネルの内容は、本年6月に行なわれる茨木市政70周年の展示に合わせ川端康成文学館に文書で報告することとしています。ぜひ取材をご検討ください。

【ポイント】

- 追手門学院大学と茨木市との連携で川端康成文学館の日本語展示パネルを英語翻訳
- 地域創造学部有志による英語学習を兼ねた取り組み
- 1月18日に学生による成果発表を経て、本年6月までに英語翻訳した内容を納品

【成果報告会】

日 時：2018年1月18日(木)16時から

会 場：追手門学院大学5号館201教室(大阪府茨木市西安威2-1-15)

この資料の配付先：北摂記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立